



プロモスチド



1キロ粒剤75
農林水産省登録
第22123号

フロアブル
農林水産省登録
第22140号

ジャンボ
農林水産省登録
第22406号



日農
イッポン

®
® 登録商標

水稻用初・中期一発処理除草剤



この一本が除草を変える!
新規成分ピラクロール配合により難防除雑草に優れた除草効果を示します。



直播、無人ヘリ、
無人航空機、
WCS用稻にも
使える

田植同時
処理可能!

鉄コーティング
湛水直播にも
使える!
(直播水稻表面播種)



*剤型により使用方法が異なります。
詳しくは各剤型の登録内容をご確認ください。



NICHINO
日本農業株式会社

*イッポン1キロ粒剤75・フロアブル・ジャンボは、
「稻発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載。

■ 日農イッポン 1キロ粒剤75

【有効成分】ピラクロニル···2.0%
プロモブチド···9.0%
ベンズルフロンメチル···0.75%
【安全性】普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

■ 日農イッポン フロアブル

【有効成分】ピラクロニル···4.0%
プロモブチド···18.0%
ベンズルフロンメチル···1.4%
【安全性】普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

■ 日農イッポン ジャンボ

【有効成分】ピラクロニル···4.0%
プロモブチド···18.0%
ベンズルフロンメチル···1.5%
【安全性】普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

特長

ノビエをはじめ抵抗性広葉雑草、カヤツリグサ科雑草に幅広く効く新規有効成分のピラクロニル、SU抵抗性ホタルイに効果の高いプロモブチド、一年生広葉雑草と多年生雑草に安定した効果を示すベンズルフロンメチルを配合した3成分混合の水稻用初・中期一発処理除草剤です。

適用雑草および使用方法

〈2022年9月現在の登録内容〉

	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンズルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
1キロ粒剤75	移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、クログワイ、オモダカ、ヒルムシロ、セリ、コウキヤガラ、シズイ、エゾノサヤヌカグサ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	1kg／10a	1回	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以内	2回以内	2回以内
	移植水稻	移植時	田植同時散布機で施用						
	直播水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	イネ1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布			

	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンズルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
フロアブル	移植水稻	一年生雑草、多年生広葉雑草、エゾノサヤヌカグサ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	500ml／10a	1回	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	2回以内	2回以内	2回以内
	移植水稻	移植時	田植同時散布機で施用						
	直播水稻	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	イネ1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			原液湛水散布又は無人航空機による滴下			

	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンズルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
ジャンボ	移植水稻	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、クログワイ、オモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	小包装(パック) 10個(500g) ／10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内	2回以内	2回以内
	直播水稻	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稻1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで						

使用上の注意事項

●雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布する。
なお、多年生雑草は生長段階によって効果にフレがるので、必ず適期に散布するように注意する（下記表参照）。

	2葉期まで	発生始期まで	発生期まで	再生始期まで	草丈3cmまで	発生前
1キロ粒剤75	ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ エゾノサヤヌカグサ	クログワイ オモダカ コウキヤガラ				アオミドロ・藻類による表層はく離
フロアブル			ヒルムシロ	セリ	シズイ	
ジャンボ	ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	クログワイ オモダカ ウリカワ				

●苗の植付が均一となるように代かきをていねいに行う。未熟な植物を施用した場合は特にていねいに行う。
●クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ及びシズイに使用する場合には、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。（1キロ粒剤・FL・ジャンボ（コウキヤガラを除く））
●水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め田面水があふれないように注意する。（FL）
●無人ヘリコプター・無人航空機で散布・滴下する場合は次の注意を守る。（1キロ粒剤・FL）
・散布・滴下は使用機種の使用基準に従って実施する。
・専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。（1キロ粒剤）
・事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。（1キロ粒剤）
・散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺への飛散防止のため散布装置のインヘラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離して圃場内に散布する。（1キロ粒剤）
・滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しない。（FL）
・作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他の点検を行う。（FL）
・隣接するほ場に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わない。（FL）
・水源地、飲料用水等に本剤が流入しないように十分注意する。
・薬剤滴下に使用した洗浄洗浄液、薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理する。（FL）
・本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しない。（FL）
●散布に当たっては、湛水状態のまま散布する。（1キロ粒剤は水の出入りを止めて田面に均一に散布、ジャンボは水深5～6cmで投げ込み散布する。）
●散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意する。また、散布後7日間は落水、かけ流しをしない。
●移植時に散布する場合には、所定量を均一に散布できる田植同時散布機を使用する。（1キロ粒剤・FL）

●中苗、成苗の場合、稲に付着すると一過性の接触害が生じる場合があるが、その後の生育に対する影響は認められていない。（FL）

●藻や浮草が多発している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるので使用をさける。（ジャンボ）

●以下のような条件では薬害を発生する恐れがあるので使用をさける。

- ・散布後に高温傾向が続くと予想される時（1キロ粒剤）
- ・砂質土壤の水田及び漚水田（減水深2cm/日以上）
- ・軟弱な苗を移植した水田
- ・強風下での処理（ジャンボ）
- ・極端な湛水の水田及び植付不良で根が田面に露出している状態
- ・散布後低温傾向が続くことで稲の生育が著しく停滞する予想される時（ジャンボ）
- 直播水稻に使用する場合は以下に注意する。
・稻の根が露出した条件では葉害を生じるおそれがあるので使用をさける。
・除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布する。
・必要に応じて有効な初期処理剤との組み合わせで使用する。（FL）
- 強風時の散布はさける。（FL）
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさける。
- 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められない。
- いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意する。
- いぐさ栽培予定期水田では使用しない。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。（1キロ粒剤・FL）
- 散布田の水田を他の作物に灌水しない。
- 容器等はほ場などに放置せず、適切に処理する。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理する。また、使用した機器等は水稻用薬剤以外に使用しない。（FL）
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。（FL）
- 眼に対して刺激があるるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。（1キロ粒剤・ジャンボ（水溶性フィルム包装が破袋した場合））
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人ヘリコプター・無人航空機による散布・滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。（1キロ粒剤・FL）
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。（1キロ粒剤・FL）

使用前にはラベルをよく読む。 ラベルの記載以外には使用しない。 小児の手の届く所には置かない。



NICHINO

日本農薬株式会社

東京都中央区
京橋1丁目
19番8号

TEL: 0570-09-1177 URL: https://www.nichino.co.jp/

2024年9月作成版(TS)AQ12409S